



その 266

クローズアップ21

天城の天然水で創業からSDGs実践 川奈ホテルゴルフコース

川奈ブランドを守りながら期待値超えるメンテナンスとサービス提供

今回500号記念に取材した川奈ホテルゴルフコース（36H、静岡県伊東市）は、西武グループ「川奈ホテル」付帯施設のパブリックコース。宿泊客専用の富士コース（18H）と大島コース（18H）がある。

大島コースは、1928（昭和3）年に開場した東海地方最古のゴルフ場で、コース設計は大谷光明氏。その後、1936（昭和11）年に川奈ホテルと「フジサンケイレディスクラシック」の開催コースで「世界のゴルフコース100選」にも選出された富士コース（当時は9H）が造られた。設計は数々の名門コース設計に携わったC・H・アリソン氏で、グリーンはコウライ1グリーン。

ゴルフ場の年間来場者数は、21年度は約5万人。22年度は約5万4千人の見込みでコロナ前よりも増えている。女性来場者比率は約15〜18%で多い時は20%程度と女性ゴルフアールからも人気があり女性だけでコースを回ることも多いそうだ。特に東京都、神奈川県からの利用者が多いという。

同ゴルフコースの村井宏通代表取締役社長兼総支配人、広沢一寿



川奈ホテルゴルフコースの村井宏通代表取締役社長兼総支配人（中央）、広沢一寿支配人（右）、持田祐介グリーンキーパー（左）

支配人、持田祐介グリーンキーパーから川奈ホテル・ゴルフコースの取り組みを聞いたので順番に紹介したい。

川奈ホテルGコース開場の経緯。富士コースの土が特效薬開発へ

川奈ホテルは、大倉財閥2代目の大倉喜七郎男爵が創設した。大倉氏は、英国留学から帰国した際に牧場を作りたい思いが芽生え、修善寺から馬で移動していたころ、今のゴルフコースの土地に辿り着いた。その美しい景観を目の当たりにし、富士山や伊豆七島も

見られて、三浦半島・房総半島が伊豆半島から一望できるロケーションに作るうというところから始まった。

「この地域は溶岩台地のため牧場を作るための牧草が生えない欠点がありました。そこで、一緒に留学していた同級生の大谷光明氏からゴルフ場開発の提案があり、大島コースを作りました。当時は、宿泊施設が殆ど無い状況でしたが、少しずつ利用が増えて、もう一つゴルフ場を作るといふ話になり、その際、ホテル建設も行い完成したのが、富士コースと川奈ホテルです。大島コースは1928年、川奈ホテルと富士コースは1936年にそれぞれ開発されました」(村井総支配人)

富士コースについては、当時赤星六郎氏が設計にあたっていたが、日本にC・アリソン氏が他の国内ゴルフ場開発の件で来館していたところを声がけて、アリソン氏に設計を依頼したのが経緯となっている。全てコースに沿った現在のレイアウトに変更し、他の土地から土を船で運び、約2mのかさ増しをしてゴルフ場の芝を植えた。当時は重機がないので、全てハン

「大村教授と採取の地」、イベルメクチンは富士コースの土から作られた



ドメイドで自然なコースに仕上げたという。

「富士コースの土からイベルメクチンという特効薬を作り、大村智教授がノーベル賞を受賞されたというお話があります。当時、大村教授が土を採取しに来られ、「必ず有名にするから富士山が写っているゴルフ場の写真を1枚貸してほしい」というお話をされたそうです。実際に2015年にノーベル生理学・医学賞受賞をされました。川奈ホテル入口には、『大村教授と採取の地』という石碑があります。今でも、イベルメクチンの投与によってアフリカの子どもたちなどを失明から救っているというので奥深いです。教授は川奈でプレーした際に必ず小さいビニール袋を持参されています。富士コース内で10箇所以上の土を採取して持ち帰り研究されました」(村

井総支配人)

ホテル宿泊客10%増、創業当時から天城の天然水でSDG S 実践

川奈ホテルの22年度宿泊客は、コロナ前(18年度)より10%増加。コロナによって一時期は減少したが、富士コースでプレー(富士コースは宿泊を伴ったプレースタイル)の個人対象にシフトしたことやコロナ禍によってホテル内で食事を含む全てをコンパクトに完結する形になり、ホテル宿泊客やレストラン利用率が大幅に増えた。宴会のマイナス分を宿泊とレストランでしっかりと立て直したことも、ゴルフ場利用者増加が大きい。よって、ゴルフ利用人員はホテル利用人員も増えて相乗効果につながっている。

ホテルのレストランメニューはソースから全て手作りという。天城山のふもとから12km離れた場所に水源があり、自然落下を含めてそこから全て引き込んだ天然水を川奈ホテルやコースに使用。水は、ろ過して利用客への提供と同時に料理の基礎となる。下水もコース管理で散水に使用して海に帰して

川奈ホテル外観



だ。

また、週刊ダイヤモンドの「ゴルフ場ランキング」で2年連続1位を獲得。利用客の期待に応えるおもてなしやキャディ教育、顧客満足度に対してもしっかりと応えているという。コースメンテナンスは最も重要視しているため、年間を通してコンディション良く景観を維持しながら、利用客を迎えることがポイントとのこと。サーピス面は、西武グループとして力を入れており、期待値も高いのでその期待値を上回るコンディションを目指すという。

いるため、SDGsを創業の86年前から実践している。ホテル建設の際、水の確保と働き先の提供が大倉男爵と地域住民の土地売買の交渉の中であったそう

旅行博の誘致活動、スクールゴルフやスナッグゴルフにも注力

インバウンドやその他関連団体との連携などについて話を聞いた。静岡県ゴルフ場協会や静岡県は、コンベンションルールなどを窓口にして取り込みをしていきたいとのこと。昔は、トリップツアー形式で招聘などを行い、旅行会社などに紹介された。独自の取り組みでは、IAGTO（国際ゴルフツアーオペレーター協会）やAGTC（アジアンゴルフツーリズムコンベンション）など、国際ゴルフに特化した旅行博にプリンスならびに川奈ホテルとして誘致している。23年は旅行会社にお願いをする形になるそうだが、今後インバウンドが徐々に緩和になるため、積極的に参加していくという。キャンペーンに関しては、「GoToトラベルキャンペーン」が一番効果的だったそう。同キャンペーンを最大限に使うことで、来場者数が大きく増加した。

ゴルフイベント活動などについて、広沢支配人から話を聞いた。「静岡県はゴルフ特区といま

親子で芝生エンジョイ中



小学生から大学生を含めてゴルフ授業を取り入れていただける学校があります。プロを派遣してレッスンをする取り組みは、おそらく静岡県が全国で先駆けていたと思います。ゴルフ授業で底上げをすることやスナッグゴルフも様々な会場で行っています。

西武グループでは、子どもたちなどを対象に「親子で芝生エンジョイday」をやっています。無料で富士コースを開放して、お子さんたちなどにスナッグゴルフ体験をしてみようイベントです。

昨年から、プレーをしない来場者を対象にゴルフコースの道をマウンテンバイクで走ったり、ゴルフ

で、プレーヤーの方からゴルフ振興基金を50円ずつ徴収して、それをゴルフ場やプレイヤーに還元しています。また、『スクールゴルフ』という

SNS登録者10倍に。コース管理スタッフのPV動画も作成

同ゴルフコースでは、SNSにも注力している。ここ2年間でInstagramやFacebook、YouTube動画に力を入れており、元々数百名の登録者から10倍近くに伸びたという。広告宣伝費が使えない中、最もよい手法を考えたところ、動画視聴が一番わかりやすいため、コース動画などクオリティを重視した動画を配信。自社SNSに加えてインフルエンサーマーケティングにも力を入れており、最近、中井学氏などYouTube



大島コース1番H

チャンネル



YouTubeチャンネルで川奈ホテルゴルフコースのコース管理の仕事動画を紹介

を持つプロを呼び、実際のプレー動画を配信することで、今まで来場しなかった層が動画を視聴して来場するため、効果的でより好循環となっている。体制前は、横田真一プロと倉本昌弘プロが大島コースをプレーした動画をアップ。倉本プロと横田プロの質の高い動画提供により来場客が増加した。ゴルフコースでは、コース管理スタッフのプロモーション動画をYouTubeチャンネルに挙げていく。今後は、作業風景の動画を挙げていくそう。

6年前より散水システム導入。全ホールでバンカー排水工事を計画

ゴルフコース管理について持田グリーンキーパーから話を聞いた。コース管理スタッフは19人でメカニックに特化した専任スタッフが3人。基本的に全員がメカニックを含めた全ての作業ができる体制を取れるよう業務に取り組んでいる。

コース改修について、持田グリーンキーパーは次の様に語る。

「樹木の伐採や剪定については、川奈は松の木が大きく、3年前から枯れ松が多くなっているので一大作業です。老木も多いため、ある程度年間予定を決めて順番に進めています。特にプレーゾーンは陽当たりを考慮して切ったり剪定をしています。また、6年前に散水システムを富士コースに導入してクオリティがより良くなりました。今は、川奈ティ(レディースティ)の拡張や来年以降に向けて全ホールのバンカー排水工事を計画を進めたいです。現在のバンカーは、25〜30mmの雨が一気に降ると池のようになってしまい、中々水

コース改修の1つとして川奈ティ(左下)も拡張



で、一番改善したいところです。

グリーンに関しては、拡張はできませんが、乗用機械刈りだとターンの箇所が必要でグリーン面が小さくなりますので富士コースは手刈り(大島コースは乗用)にして徐々に昔の大きさに戻しています(持田キーパー)

また、イノシシやシカなどがコースに入ってくることはあるが、電柵を周りに張っているため大分獣害被害は減ったという。

コース管理人員やコロナ対策規定に沿った独自の取り組み

フジサンケイレディスクラシックのトーナメントコース管理や運営について現段階の話を聞いたので紹介したい。

が引きません。バンカー内の砂が固結し排水不良をおこしている状況で、ポンプアップして外に排水するしかない状況なので。

「グリーンスピードは全ホール10・5を目標に、コンパクションも22〜23を目安に大会に向けて進めています。初春は高麗芝の管理が



22年フジサンケイレディスクラシックの様子(23年は4月21〜23日に開催される)

難しく苦労している。ラフについては液肥等の散布はしますが、生育が遅いため、特に刈るわけではなく、60〜80mmまで伸びれば良いと思います。

トーナメントコース管理の人員は、ここ数年は毎年西武グループのゴルフ場から5名が手伝いに来てくれますので計24名で大会コース管理をします(持田キーパー)お互いに西武グループの大会を引き来して助け合うことで、スキルアップと良い交流の機会にも繋がっている。

これからの時期は、女子プロトーナメントのティショットやセカンドショットなどの場所にローピングをして、4月の大会を一番良

い状態で迎えられるようにすること。コロナ対策に関しては、コロナが発覚した時点で、『プリンスサーフティコミット』という独自の規定に沿って対策を行う。

最後に、総支配人、支配人から意気込みを聞いた。

「今、ゴルフ業界で来場者数も増えてきて、今までゴルフをされない方々がゴルフに興味を持っていただいたというコロナ禍だったと思います。その中で川奈ブランドをしっかりと守りながら全てのお客様の憧れのゴルフ場としてメンテナンス・サービスも含めて取り組んでいきたいです。ご利用いただいた時に「良かったね」と思っていたために、日々精進して新しいことにチャレンジしながら、ゴルフ場業界全体を盛り上げていくことや業界の底辺拡大の一助になればと思います(村井総支配人)「ゴルフアの憧れのゴルフ場とも言われますし、期待値が高いです。どれだけ来場者に喜んでいただく、良い景観を見ていただくことをスタッフ一同でやっていきたいと思えますので、また来たいと思えるゴルフ場を目指していきたいです(広沢支配人)